

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立鏡が丘特別支援学校
校長 上運天 滋
(公印省略)

令和4年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和5年2月10日付け教県第1995号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	7月5日(火) 10:00~11:00	場所	会議室、職場、自宅等	出席 状況	評議員:5名 本校職員:8名
第2回	日時	11月29日(火) 10:00~11:20	場所	会議室、職場、自宅等	出席 状況	評議員:5名 本校職員:9名(内1名、資料確認)
第3回	日時	2月6日(月) 10:00~11:30	場所	会議室、職場、自宅等	出席 状況	評議員:5名 本校職員:9名

2 学校評議員に求めた事項

<第1回> 「委嘱状交付」の後、「令和4年度学校経営方針」、「1学期の学習活動」等について説明、感想、意見をうかがった。
 <第2回> 「2学期の学習活動」、「学校評価、保護者自由記述」等について、感想、意見をうかがった。
 <第3回> 「3学期の学習活動」、「進路指導の取り組み」、「学校評価のアンケート結果で課題とされた事案の対応策について」、等について、感想、意見をうかがった。

3 学校評議員の意見

・学校経営方針にあった「元気で、きれいな学校」はよいと思う。建築現場でも同じ。校長がそのような考えで引っ張っているの
 でよい学校だと思う。
 ・先生方が児童生徒一人ひとりと丁寧に向き合っているからこそ、子ども達が生き生きしている。子ども達の学びをみんなで考
 えることができている。今後も心にゆとりを持って子ども達と向き合ってもらいたい。また、特別支援学校の先生方の専門性をもっ
 と地域にアピールしてほしい。医ケアや重度の子がいて困り感を抱えている学校が多くある。地域に対して本校が果たす役割、
 センターの役割をもっと果たしてほしい。
 ・先生方が今できる活動を丁寧に取り組んでいて嬉しい。コロナ禍でのオンライン授業や交流学習を実施しつつ、昨年よりも実
 際に交流する場面が増えてきてよかったと思う。オンラインだからできることやこれから少しずつ対面に戻ったときにどうするか
 を今後は考えてほしい。
 ・生徒達は余暇活動や学校以外での過ごし方、楽しみ方がわからないように見える。卒業後に向けて、寄宿舎以外でも余暇指
 導についても取り組んでいけたら、充実した生活につながると思う。また、やりたいことを問うだけではイメージしづらいので、
 先生方の趣味や余暇について生徒達に伝えることで参考になると思う。「誰とやりたいか」ということも重要だと思う。
 ・生徒の悩みや改善要望等に対応していくため、教職員一人ひとりが自分に置き換えて考えると気づくことがある。相談者や相
 談内容を把握し、悩みや意見を出した生徒の心のケアを行っていくことも大切である。生徒達が自分たちでしゃべり合う機会や
 相談できる環境づくりを行うことで楽しい学校になるのではないかな。
 ・学校評価について、コロナ禍の影響を受けているとのことだが、コロナ前の数値と比較・分析はされているか。
 ・保護者の回答率を上げる工夫や「？」項目の回答が多いことへの対策としてはどう考えているか。日々の教育活動や教育課
 程がわかる資料を添付してはどうか。
 ・校舎改修等について、進捗状況を数値や時期等で示して、どの段階までできているか伝えていくと不満は軽減すると思う。
 ・学校評議員会の資料は、とても分かりやすく、丁寧にまとめられている。たくさんの方に見てほしい。保護者に配布したり学校
 のHPにあげたりして、保護者や外部の方が見られるようにすれば、学校内での取組がよくわかると思う。
 ・先生方がお互いのがんばりを情報共有し、いいところを認め合うことができるようにする。また、早めに帰宅し、自分の時間や
 家庭の時間の充実を図ることで見えてくることもある。自己回復力・自己肯定感を高めてほしい。

4 学校運営に反映した事項

・校内におけるオンライン授業活用動画、「学習評価の手引き」等、これまで作成されたデータベースの更なる活用。
 ・学校評議員からの助言をもとに、校内における対応を検討。(全職員での情報共有、保護者や外部へ向けての教育課
 程や学校評価を含めた教育活動等の情報発信及び公開の方法を検討した。
 ・アフター・コロナに向け、学校行事等の持ち方及び児童生徒を主体とした活動内容の創意工夫と授業改善を行った。

5 課題その他

・保護者座談会やPTA作業、災害用バックの準備等、学校とPTA一体となって対応したい。